

教員免許状更新講習

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

教員が体験活動の意義について理解するとともに、児童の集団宿泊活動を効果的に実施するための基本的な体験活動指導法や安全管理のポイントについて実習を通して身に付ける。また、学習指導要領における体験活動の取り扱いを理解し、教育課程の編成や教育活動に取り入れる方法を講義や実習を通して習得する。

○ 実施期間

平成31年2月9日(土)～平成31年2月10日(日) 1泊2日

○ 対象者・参加者数(人数/定員)

17名/40名

○ 活動プログラム

2月9日〔土〕	2月10日〔日〕
開会行事、オリエンテーション 講義「体験活動の意義と学習指導要領」 四国学院大学総合教育センター教授 清水 一 氏 講義「学校教育の現状と課題」 高知大学教職大学院教授 高知県教育委員会教育委員 永野 史 氏 演習「体験活動の技術と指導①」 次長 瀬沼 健 講義・実習「体験活動の技術と指導②」 企画指導専門職 谷岡 守 講義「体験活動の教育活動への活用」 主任企画指導専門職 竹島 稔 入浴・就寝	起床・洗面 朝のつどい・朝食 講義「体験活動の安全管理」 企画指導専門職 松下 泰山 講義・演習「体験活動の技術と指導③」 室戸ジオパーク推進協議会地理専門員 中村 有吾 氏 履修認定試験 閉会行事 解散

2. 活動の様子

< 1日目 >



講義「体験活動の意義と学習指導要領」



講義「学校教育の現状と課題」



演習「体験活動の技術と指導①」



演習「体験活動の技術と指導①」



講義・実習「体験活動の技術と指導②」



講義「体験活動の教育活動への活用」

1日目は「体験活動の意義と学習指導要領」や「学校教育の現状と課題」「体験活動の技術と指導①」「体験活動の技術と指導②」「体験活動の教育活動への活用」の講義と演習、実習を実施した。「学校教育の現状と課題」では、チーム学校の構築をテーマとして自校の課題や今後の取組等について、受講者同士が情報交換し合った。また、「体験活動の教育活動への活用」では、集団宿泊活動を効果的に実施するためのカリキュラムマネジメントについての確認後、活動を教科等に関連付けた集団宿泊活動実施計画の作成を行った。

< 2日目 >



講義「体験活動の安全管理」



講義・演習「体験活動の技術と指導③」



そっくりさんを探せ（室戸岬）



土佐日記石碑見学（室戸岬）



タービダイト見学（室戸岬）



御厨人窟見学（室戸岬）

2日目は「体験活動の安全管理」や「体験活動の技術と指導③」の講義・演習を実施した。「体験活動の技術と指導③」では、「室戸ユネスコ世界ジオパーク」を教材に、「荒波オーケストラ」や「そっくりさんを探せ」等の室戸岬の体験学習プログラムを実際に体験しながら歩いた。演習と講義を通して受講者同士のコミュニケーションも深まり、体験活動の効果について実感することができた。

3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・自分の知らないことを知る喜びを味わい、子供たちへどのように返していくかを考えることができた。
- ・活動をしていくことで、体験活動の気づき、自分の中へ落ちるということが知れてよかったです。
- ・安全に活動し、命を守り、活動を終えることの重大さを改めて認識できました。
- ・野外活動の教科化ができることを知り、大変勉強になりました。
- ・チーム学校という発想、子供たちの笑顔のために働きやすい職場のありかた、学校教育現場の課題と現状について考えさせられました。

○ 事業の成果

- ・受講後の「免許状更新講習受講者評価書」の評価を見ると、「総合評価」「よい」が94.1%、「だいたいよい」が5.9%であった。講習内容についての満足度はかなり高い評価を得ることができた。

○ 事業の課題

- ・昨年度より受講希望者が減少しているため、学校への要項発送時期やホームページの掲載時期を早めて受講者の増加を図りたい。
- ・本講習は2日間の講習でありがたいという声もあるが、18時間の講習を実施しており、通常の3日間よりハードな講習会となる。受講者の体調面に留意して運営する必要がある。